



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月31日

上場会社名 富士興産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5009 URL http://www.fkoil.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金丸 勇一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 戸上 岩男 TEL 03 (3861) 4601
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	19,283	13.6	46	△38.4	69	△39.3	68	△48.2
24年3月期第1四半期	16,975	0.6	75	△36.0	114	△16.5	131	16.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 52百万円 (△55.1%) 24年3月期第1四半期 115百万円 (18.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.78	—
24年3月期第1四半期	1.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	15,879	6,616	41.7
24年3月期	22,089	6,564	29.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 6,616百万円 24年3月期 6,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	19.5	100	△34.2	150	△30.0	150	△56.4	1.72
通期	100,000	13.1	800	△12.9	850	△15.2	800	△37.6	91.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※平成24年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合する予定のため、平成25年3月期の通期の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	87,439,073株	24年3月期	87,439,073株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	44,901株	24年3月期	44,901株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	87,394,172株	24年3月期1Q	87,396,288株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 平成24年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合する予定のため、平成25年3月期の通期の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、世界景気の減速傾向や円高の影響による輸出の低迷に加えて、消費の伸び悩みや被災地域の復興需要広がり遅れなどから国内需要の回復力も鈍く、停滞感が強まりました。

石油業界におきましては、通関CIF価格で期初120ドル/バーレル後半であった原油価格は低下傾向で推移し、第1四半期末には110ドル/バーレル前半まで下落しました。国内の石油製品需要は、春先の気温の上昇の影響から減少した灯油・A重油を除き、全ての油種で震災の影響で落ち込んだ前年同期を上回りましたが、製品販売価格につきましては、原油価格の下落による影響で前年同期を下回りました。

このような経営環境の下で当社グループは、今年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画『「FK14ベストプラクティス」～さらなるCSRの実現を目指して～』をスタートし、計画の基本方針のひとつである石油事業における販売数量の拡大に傾注したことで、数量面では前年を大幅に上回ることができました。しかしながら、製品コストの大半を占める原油価格が期中を通して下落したことにより、割高となった期初在庫の払出しが売上原価を押し上げ、損益面では厳しい状況が続きました。

ホームエネルギー事業、レンタル事業につきましては、ほぼ計画どおり順調に推移しました。

この結果、当第1四半期の業績につきましては、売上高は売上数量の増加により、前年同期比23億円(13.6%)増加の192億円となりましたが、売上総利益は、割高となった期初在庫の払出しの影響もあり、前年同期並みの883百万円となりました。また、営業利益は、売上数量の増加から運賃等の経費も増加したことにより、前年同期比29百万円減少の46百万円となり、経常利益は45百万円減少の69百万円となりました。四半期純利益は、前年同期に特別損益として受取補償金など28百万円の利益を計上したことから、63百万円減少の68百万円となりました。

なお、当社グループの主力事業であります石油事業は、冬季に需要が増加する灯油・A重油が中心であるため業績に季節的変動があり、売上高・利益ともに第1・2四半期が少なく、第3・4四半期が多くなる傾向にあります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①当第1四半期連結会計期間末の財政状態

当第1四半期末の総資産は、前会計年度末に比べ6,209百万円減少の15,879百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の支払いなどによる現金及び預金の減少1,624百万円と受取手形及び売掛金の減少4,438百万円によるものであります。

また、負債合計は、前会計年度末に比べ6,261百万円減少の9,262百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少4,959百万円と短期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の減少1,123百万円によるものであります。

純資産合計は、前会計年度末に比べ52百万円増加の6,616百万円となり、自己資本比率は41.7%となりました。

なお、当第1四半期では、中期経営計画の課題のひとつである財務環境の整備の一環として、第82回定時株主総会の決議に基づき、資本準備金の振り替えによる未処理損失の解消を実施いたしました。

資産及び負債の減少は、主に季節的変動によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動、投資活動、財務活動ともに資金が減少し、これにより当第1四半期末の資金残高は、前会計年度末に比べ1,624百万円減少して1,957百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は345百万円(前年同期は222百万円の使用)となりました。これは主に仕入債務の減少額4,964百万円などの資金減少要因が、売上債権の減少額4,438百万円、たな卸資産の減少額329百万円などの資金増加要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は126百万円(前年同期は38百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は1,152百万円(前年同期372百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の純減額623百万円、長期借入金の返済による支出500百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での業績予想につきましては、平成24年5月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,582	2,957
受取手形及び売掛金	12,933	8,495
商品及び製品	693	364
その他	586	710
貸倒引当金	△7	△14
流動資産合計	18,788	12,514
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,358	1,358
その他(純額)	1,248	1,339
有形固定資産合計	2,607	2,698
無形固定資産	31	29
投資その他の資産	661	637
固定資産合計	3,300	3,364
資産合計	22,089	15,879
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,821	5,861
短期借入金	1,123	—
未払法人税等	45	14
預り金	1,434	1,493
固定資産撤去損失引当金	17	17
その他	1,290	1,009
流動負債合計	14,731	8,397
固定負債		
退職給付引当金	482	493
引当金	49	51
その他	260	318
固定負債合計	792	864
負債合計	15,524	9,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,527	5,527
資本剰余金	2,957	48
利益剰余金	△2,003	973
自己株式	△5	△5
株主資本合計	6,476	6,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	72
その他の包括利益累計額合計	88	72
純資産合計	6,564	6,616
負債純資産合計	22,089	15,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	16,975	19,283
売上原価	16,103	18,399
売上総利益	871	883
販売費及び一般管理費	795	836
営業利益	75	46
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	8
固定資産賃貸料	26	23
業務受託料	18	14
軽油引取税交付金	12	15
その他	16	2
営業外収益合計	82	65
営業外費用		
支払利息	12	9
固定資産賃貸費用	8	8
業務受託費用	17	16
その他	4	8
営業外費用合計	43	42
経常利益	114	69
特別利益		
固定資産売却益	8	11
受取補償金	49	—
特別利益合計	57	11
特別損失		
訴訟関連損失	28	—
その他	0	0
特別損失合計	28	0
税金等調整前四半期純利益	143	81
法人税、住民税及び事業税	9	10
法人税等調整額	2	2
法人税等合計	11	12
少数株主損益調整前四半期純利益	131	68
四半期純利益	131	68

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	131	68
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△15	△16
その他の包括利益合計	△15	△16
四半期包括利益	115	52
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115	52
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	143	81
減価償却費	73	70
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	6
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△16	11
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
修繕引当金の増減額 (△は減少)	0	1
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	—	△0
固定資産売却損益 (△は益)	△8	△11
訴訟関連損失	28	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,443	4,438
たな卸資産の増減額 (△は増加)	173	329
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,751	△4,964
未払金の増減額 (△は減少)	△124	△139
その他	△148	△124
小計	△191	△301
利息及び配当金の受取額	7	9
利息の支払額	△4	△3
災害損失の支払額	△6	△17
法人税等の支払額	△28	△31
営業活動によるキャッシュ・フロー	△222	△345
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47	△136
有形固定資産の売却による収入	10	12
その他	△1	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△336	△623
長期借入金の返済による支出	—	△500
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7	△7
割賦債務の返済による支出	△29	△22
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△372	△1,152
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△634	△1,624
現金及び現金同等物の期首残高	3,545	3,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,911	1,957

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年6月28日開催の第82回定時株主総会決議に基づき、資本準備金2,908百万円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金2,908百万円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充ちました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本剰余金が48百万円となっております。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油事業	ホームエネ ルギー事業	レンタル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,470	327	176	16,975	—	16,975
セグメント間の内部売上高又は振替高	73	0	0	73	△73	—
計	16,543	327	177	17,048	△73	16,975
セグメント利益又は損失(△)	59	39	△23	75	0	75

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油事業	ホームエネ ルギー事業	レンタル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,747	329	205	19,283	—	19,283
セグメント間の内部売上高又は振替高	63	0	0	64	△64	—
計	18,811	329	205	19,347	△64	19,283
セグメント利益又は損失(△)	34	15	△3	46	0	46

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。